令和元年度　第２回美郷町教育委員会議事録

日　時　令和元年５月３０日（木）
　　１４時００分～１５時００分
場　所　美郷町役場３階入札室

<出席者>　田邊教育長、芦矢委員、西原委員、大草委員、難波委員、
漆谷教育課長

<議　題>　１、美郷町いじめ問題対応専門家会議委員委嘱について　【承認】
２、平成３０年度学校関係取得財産報告について　【承認】

○教育課長　それでは、第２回美郷町教育委員会をはじめさせていただきます。教育長からごあいさつをお願いします。

○教育長　皆さんありがとうございます。昨日までバリ島のマス村の村長さん方５名がおいでになっていましたが、お帰りになりました。昨日県の教育委員会の佐藤教育監が ICT 教育を観たいということで、急遽、大和小学校で受けてもらって１時間半ほど観ていただきました。大変喜んでいただきました。今日は議題と報告事項がございますのでよろしくお願いいたします。
　それでは会議録署名委員さんですが、大草委員さんと西原委員さんでよろしくお願いします。会期は今日１日限りでよろしいでしょうか。

○委員一同　はい。

○教育長　会議録はいかがでしたでしょうか。

○教育課長　私の方から２点修正をお願いします。１ページ中ほどの教育長の３００万円の説明ところで、「文学全書」となっておりますのは、「文学全集」の誤りです。それから、６ページの３行目、「英語の教科か」となっておりますので、「化」にしてください。そのほかにございましたらお願いします。

○西原委員　５ページの下から９行目で、「不のスパイラル」のところが。

○教育課長　「負」ですね。ありがとうございます。

○芦矢委員　６ページの教育課長さんの話で、「様ざま」となっているのは、

この場合「さまざま」とした方が良いと思います。それから、４ページの教育長さんのところの終わりから３行目、共同メッセージのあとに「、」とした方が良いと思います。

○教育課長　　わかりました。

○教育長　　５か所修正ですね。ありがとうございました。

○大草委員　　４ページの教育長さんが芦矢委員さんにあいさつをお願いしますといわれた後に、「翌１６日は」となっているのですが。

○教育課長　　これは「翌週」です。ありがとうございます。

○教育長　　６か所ということで直させていただきます。

では、私の諸報告に入らせていただきます。レジュメの方お願いします。

６月４日、郡総体があります。剣道が邑智中でありますので芦矢委員さんご挨拶をお願いします。議会が６月４日から１２日までです。今回はまだ一般質問は何も出ておりません。町長はいろいろ頑張っておられますが、まだ６月議会で報告できることはないという状況での議会です。

６月１０日に例年どおりふれあいソフトの開会式があります。１４日に大和小中の、１９日に邑智小中の学校関係者評価委員会がそれぞれ１６日が町民文化祭、大和中学校で開催いたします。あとでまた詳しくお話いたします。

６月１８日に浜田教育事務所長訪問。２７日に同推協の総会と第１回人権講演会があります。午前中です。７月１７日に市町村教育委員会連合会の総会が例年のとおり行われますが、今年から出雲市に会場が変わりました。

８月４日に県のスポレク祭のカヌー大会とカヌー祭りを合わせて行います。今年は趣向を増やしてやってみたいなと思っております。８月６日がICT教育研修会で、鳴門教育大学の藤村先生においでいただいて、丸１日教職員の皆さんの研修会を行います。教育委員の皆様もご都合が良ければご参加いただきたいと思います。後は書いてあるとおりでございます。

この前、全国町村教育長会に出席しまして、その際に分厚い資料をいただきましたが、次のページに裏表の一枚紙をつけております。これで大体の今後の教育の方針が出ておりますので、説明させていただきます。

これは中教審に諮問した内容で、これから中教審で審議がされま

す。大変簡略化して書いてありますが、OECD の学力テストで１５歳までは世界トップレベルです。ここまではいいのですがこのあと高校も大学も日本は文系理系に分かれて、文系が７割と多いです。すると数学と理科はほとんど勉強しない。これで全然変わってくるということです。大学受験では早稲田、慶応でも文系は受験に数学理科はいりません。これを早稲田、慶応は来年くらいから数学を入れてくるのではないかと思います。文理の分断をなくすということになっていきます。したがって、高校も普通科を改編しようという動きがあります。これもこの影響です。文理を分けずにバランスよく勉強させようと。これが今後の中教審の目玉になりそうな言い方でした。今は７割の子が数学理科を勉強しないわけですから。

次の裏のページに書いてありますが、２番のところで新時代に対応した高等学校教育の在り方のところで、普通科改革など各学科の在り方、これが文理の分断からの脱却ということで、高校も大学も文理をバランスよく勉強させたいという方向です。

表に返っていただいて、ソサエティ 5.0 時代の教育をどうするのかということで、一番上に書いてあります、読解力、情報活用能力を最も大事にしていきたいと。自分で考えて表現できる力を読解力、情報活用能力をもとにつけていきたいということです。ここにあるとおりを中教審に諮問して、審議していただき方向性を出してもらう。来年の４月頃には出てくるのかなと思います。

もう一度裏のページをお願いします。この文系理系の問題と一緒に、小学校の教科担任制を考えていくと。具体的に案が出ておりまして、５，６年生を教科担任制にすると、余裕があるところは３，４年生からしても良いということですが、今のままではしんどいですよね。免許の制度がありますから、小学校免許だと教科が書いてありませんのでその点をどうするのか。免許がなくても得意ならできるようにしないと。どうもこの方向でいくようです。

そのあとＩＣＴ教育の講演会があったのですが、文科省と総務省と経済産業省、この３つに情報教育の担当課がそれぞれあります。今やっとこの３省が連携しだして、今文科省が打ち出している３人に１台のタブレットの目標を１人１台にしないといけないというのが３省の担当課長で話し合われたそうです。うちでは先行してやっていますが、これから国の方針として出したいということだそうです。この１枚紙がこれから中教審に出される内容の全てです。

次の資料で、Ａ３の用紙に図がありますが、これは今年度から３年間研究授業がスタートします。邑智中学校が引き受けています。各教育事務所管内で小中１校ずつです。この事業を受けたので、３年間１名教員がつきます。実際に今講師がついています。研究は今荒田先生と安部先生にやっていただいています。

次に、東京で今話題の新井紀子さんの講演を聞いてきました。次のページに２枚、チラシを付けています。「AI vs 教科書が読めない子どもたち」です。AI によってこれからいろいろな職業が無くなるといわれていますが、そのことについて詳しく書いてあります。すごく売れている本です。要は読解力がない子どもがいる。意味が分からないまま教科書を読んでいる、そういう子どもたちだと AI には勝てないよと言っています。この続きの本が下のです。新井さんはリーディングスキルテストを開発した方です。図書館にあります。とても面白い本です。

○芦矢委員　　子どもの読解力は落ちているのでしょうか

○教育長　　はい、とても落ちています。いろんなアンケートをされていますが、全然だめだと。

○西原委員　　読解力といわれるから国語の方かと思ったら、数学者なのですね。

○教育長　　両方できる方です。新井紀子さんは、AI を東大に合格させる会をやっておられます。AI をほめているのではなく、AI は感情がないからダメだと、感情がない AI に読解力のない子どもたちは完全に負けていると言っておられます。新井さんが今度大田市に講演に来られます。もし機会がありましたら。

もう１点、ICT の首長協議会に行ってきまして、もらった資料をコピーしました。９ページに美郷町が出ています。

ICT 教育首長協議会には１２８団体加盟して、島根県ではうちだけです。なかなか ICT が進んでいなくて。佐賀県や岡山県は多いです。私の方は以上です。何かございますか。

○芦矢委員　　STEA M 教育というのは何でしょうか。

○教育長　　なにかの頭文字ですね。

○西原委員　　調べました。STEAM 教育とは、サイエンス、テクノロジー、エンジニアリング、アート、マスマティックスです。これまでは STEM 教育といっていたそうで、アートを入れて STEAM 教育だそうです。

○芦矢委員他　　なるほど。これまでも STEM 教育はあったのですね。それをさらに深めてということですね。

○西原委員　　アートにはデザインの原則とあります。確かに、デザインにはつなぎ合わせるといった意味合いもあります。多分野の物を合わせる。創造的なということでアートの領域ということですね。

○芦矢委員　　偏らずにいろいろなものを大事にしていこうよということなのかもしれません。ですが、やはり理数を重視していますね。

○難波委員　　５月４日の新聞に ICT やデジタル教科書の事が載っていたので持ってきました。大きく出ていたので、これから力を入れていくのかなと思いました。

○教育長　　今年の四月からデジタル教科書が教科書として使えることになりました。うちではもう導入しています。デジタル教科書だと、関連がある動画やグラフなども出てきます。

○芦矢委員　　便利になって失われるものはないでしょうか。今までなら、何時間もかけて書いて作って、教える方も精根が入っていましたが、簡単に出せるようになるとどうでしょうか。

○教育長　　タブレットではグラフの途中段階も出ます。今までならたくさん模造紙を使って書いていたことも簡単に出せます。どうやって上手に使うかです。

○教育課長　　デジタル教科書はパソコンと電子黒板で使えるだけで、子どもたちのタブレットでは使えません。

○芦矢委員　　もしもこれが子どもたちのタブレットに入るようになったら、教科書をもっていかなくても良いことになります。

○大草委員　　大きなランドセルもいりませんね。

○芦矢委員　　大田高校では入学するのにタブレットを持たないといけないと聞きました。

○教育長　　大田高校はタブレットで宿題を配信するのではなかったですか。

○西原委員　　仕事でも画面で処理するので、本当に書類がいらなくなりました。辞書を調べる能力が失われるといわれますが、そもそもその能力が必要なくなるといいます。昔やっていたことが今無くなっていることはたくさんありますが、今ちょうどそれがすごいスピードで進ん

でいます。

○芦矢委員　　私の考えは古いのかもしれませんが、えーいいの？という気がします。

○西原委員　　テレビ業界が人気が無くなって、このごろはテレビを観ませんから。AI で仕事が無くなるというのもありますが、インターネットでテレビが無くなる。

○教育長　　それではよろしいでしょうか。議事に入らせていただきます。
では最初に「美郷町いじめ問題対応専門家会議委員委嘱について」説明をお願いします。

○教育課長　　前回の教育委員会で 3 名の委嘱を承認いただきました。本日残り 1 名の承認をお願いいたします。
新規の方です。高野山真言宗清水大師住職、渡利勝信さんで、温泉津町の方です。委嘱期間は本年 6 月 1 日から 2022 年 5 月 31 日まで、3 年間です。
社会福祉士寺本賢司さん退任ということで、後任として島根県社会福祉士会から推薦いただきました。島根整肢学園に 17 年勤務、大田市包括支援センターに 6 年間社会福祉士として勤務されたご経験があります。
また、前回承認いただいた 3 名については、任期の開始を 4 月 1 日からとしておりましたが、承認をいただきましたのが 4 月 25 日でしたので､任期を 5 月 1 日からとさせていただきたいと思います。

○芦矢委員　　この方は何歳くらいですか。

○教育課長　　漆谷主任がお目にかかって、美郷町の学校の状況など説明しておりますが、そのときの様子では 50 歳台くらいかと。

○教育長　　いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

○委員一同　　はい。

○教育長　　ありがとうございます。それでは次に「平成 30 年度学校関係取得財産報告について」お願いします。

○教育課長　　平成 30 年度に学校関係で整備しました空調設備等の教育財産についてご報告します。

1番が空調設備です。邑智小学校、邑智中学校、大和中学校の特別教室にエアコンを設置いたしました。設置場所や金額、施行業者は表のとおりです。これはブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業で実施いたしました。

次に邑智小学校スクールバスですが、老朽化しておりました大型バスを2台更新しております。フィッシュ号とやまびこ号ですが、やまびこ号はもとはレインボー号と呼んでいた車です。絵本作家の村上康成さんの指導で、現6年生が5年生の時に作画したものを新しいバスにプリントすることとしております。夏休みに施工することにしており、絵柄にあわせてバスの名前もやまびこに変更しました。29年度に導入しました29人乗りのバスには3月に神楽の絵をプリントしまして、今走っております。以上です。

○教育長　　よろしいでしょうか。

○委員一同　　はい。

○教育長　　ありがとうございます。では、報告事項をお願いします。

○教育課長　　はじめに、町民文化祭についてですが、カラー刷りの資料をご覧ください。まだ完全版ではありませんが、何回か幹事会を重ねて詰めているところです。今年の文化祭は日本遺産認定の関係で神楽とバリとの交流といったところを入れておりまして、基本的には例年どおりの開催となります。ただ文化祭については、町長も替わられて、町を挙げてのイベントについて、位置づけを整理したり見直したりということが必要だと考えております。そういった観点で文化祭のほうもご覧いただければと思います。めくっていただくと舞台出演の部プログラムを載せています。今年は16団体が出演します。次が展示の部で34団体、その次がバザーの部で21団体。商工会青年部や地域おこし協力隊、ALTなど若い方が参加してくださるということで期待しております。

今年の文化祭では、中高生のボランティアスタッフを入れるようにしておりまして、次のチラシを中学校と近隣の高校に配布しています。今のところ、高校生3人、中学生5人の申し込みがありました。まだこれから増えるかもしれません。

○芦矢委員　　中学生は大和中ですか？

○教育課長　　大和中2人、邑智中3人です。高校生は矢上高校と島根中央高校です。

○教育長　　よろしいでしょうか。では、「日本遺産」について。

○教育課長　　すでに報道でご存知だと思いますが、「日本遺産」の認定結果の発表がありまして、残念ながら今回も「石見銀山街道」は認定になりませんでしたが、「石見の神楽」が認定になりました。資料をつけておりますが、これは5月20日に文化庁から出されたもので、めくっていただいた次のページ、12番に「神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～」が載っています。せっかく認定になりましたので、これから神楽の振興など観光の方が中心になりますが、取組みを進めていきます。「石見銀山街道」については、沿線7市町で構成する石見銀山街道日本遺産認定推進協議会で今後の方向性を出されると思います。以上です。

○教育長　　市町村教育委員会連合会総会についてもお願いします。

○教育課長　　令和元年度島根県市町村教育委員会連合会の総会・研修会が7月17日に開催されます。昨年までは、松江市で行われておりましたので9時頃にこちらを出発しておりましたが、今年はいかがいたしましょう。

○芦矢委員　　昨年は早めに出かけて、県立美術館を見学することができました。今年も同じように出発して、歴史博物館などを見学できたら良いと思います。

○教育課長　　ではその方向で日程を調整いたします。

○西原委員　　私はその日は都合が悪いので欠席します。

○教育課長　　分かりました。ありがとうございました。

○教育長　　それではよろしいでしょうか。何かありますか。無いようでしたら、以上で終わらせていただきます。